

平成26年12月2日

(仮称) 多世代交流モール整備工事設計競技の最終結果について (通知)

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度は本設計競技におきまして素晴らしいご提案をいただき、誠にありがとうございました。

平成26年11月5日に開催した、多世代交流モール整備工事設計競技第一次審査および11月26日に開催した第二次審査において審査を行った結果、下記の通り最優秀賞、優秀賞(次点)、佳作を決定いたします。

なお、今後は最優秀賞の対象者と諸条件、契約内容の検討を進めさせていただきます。

記

【最優秀賞】

登録番号045 水上哲也建築設計事務所(福井県)

【優秀賞(次点)】

登録番号013 鹿内健建築事務所(東京都)

【佳作】

登録番号003 OHArchitecture(京都府)

登録番号053 マチデザイン(神奈川県)

登録番号058 カマノスタジオ(東京都)

登録番号061 白川在建築設計事務所(東京都)

登録番号065 レモン設計室(宮崎県)

以上

株式会社油津応援団 代表取締役 村岡 浩司

<事務局>株式会社油津応援団

木藤亮太、鬼束準三

TEL : 0987-67-5634

E-mail : info@aburatsu-o.com

(仮称) 多世代交流モール整備工事設計競技 審査結果

提案していただいた皆さまの熱い思いと多大な労力に感謝するとともに、一つの案を選択をせざるを得ない責任が重くのしかかった選考でした。

平成26年11月5日に一次選考で78点の応募者から、7点の二次審査対象者（プレゼンター）を選びました。11月26日に、7者よりプレゼンテーションをして頂き、その後各案それぞれについて優れた所や運営上の問題、実現性等について意見交換を重ねました。その結果、登録番号045を最優秀、次点に登録番号013を特定しました。

応募して頂いた78名の皆様方に厚く御礼申し上げます。私どもは皆様方のパワーを力に変えてまちづくりに頑張っまいりますので、これからもよろしくお願い致します。

【最優秀賞：登録番号045】

①選定委員会の評価

シンプルで商店街の賑わいを補強する美しい空間をイメージさせる。また、ビジネスとして成功させる観点においても非常に魅力のあるプラン、特に約20mの大きなカウンターは魅力的である。多世代交流施設と屋台村に挟まれたオープンエアで開放的な空間は気温の変化への対応など不安要素もあるが、作り込みによっては、屋外であることを感じさせない空間になる。空間を一体的に使えるシンプルでフレキシブルな構成が高い評価を得た。

②付する条件（今後の設計検討に対して）

- ・一部屋根がなく樹木が植えられている部分の気温変化への対応、管理上の手間、コスト軽減への対応に考慮すること
- ・カウンター形式の屋台村については保健所許可やテナントとの契約形態などと合わせて配置、レイアウトを再検討すること
- ・その他、基本設計、詳細設計時に発注者と協議し実現可能な内容に練り上げていくこと

【優秀賞（次点）：登録番号013】

①選定委員会の評価

飴肥杉をふんだんに使用したデザイン案はコンセプトが明快で市民の評価も高く魅力的。一方で飴肥杉屋台などインテリアデザインにはコンセプトを踏まえた上でのもうひと工夫が欲しい。本施設で飴肥杉を乾燥、建築、家具材として循環させていくというプログラムも興味を引いたが、短い工期の中関連団体等との体制づくりなど、実現可能性についての課題も懸念された。

【佳作】

登録番号 003

縁側商店街、ミニアークードなど動線やコミュニティ形成における豊かさがとても際立ちインパクトを感じた。しかし建設コスト、防犯面の課題も懸念された。

登録番号 053

たくさんのアイデアが散りばめられた提案はできあがる空間の楽しさがイメージしやすい。一方で意匠・デザイン面においてつくり込み、囲い込みの印象が強く周囲との関連性に配慮が欲しかった。

登録番号 058

新しいまちのインフラストラクチャーの提案としての緑という提案には魅力を感じる。しかし提案された空間が日南市の地域性と乖離している印象が拭えなかった。

登録番号 061

広場や移動する小屋の提案は魅力的で、木の利活用の提案においても可能性を感じた。しかし運営上の問題点や、具体的な交流のイメージが浮かばないという印象が拭えない。

登録番号 065

これからの商店街を雑木林に見立てるなど、商店街のありようを明確に指摘したコンセプトは地域の現状をとらえた現実的な提案として評価が高かった。しかし、意匠デザインの提案における魅力がいま一つ感じられない。

以上。

平成 26 年 12 月
株式会社油津応援団